

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

学校番号 <32009>

令和7年(2025年)3月19日
札幌市立屯田中央中学校

1. 学校教育目標

明るい豊かな社会を創造し 人類の平和に貢献することをめざして
 ・生き生きとした 豊かな 学力をみがく(知育)
 ・強靱で 健全な たくましい心身を育てる(体育)
 ・礼儀を重んじ ひろく人と自然を愛する 豊かな心情をはぐくむ(徳育)

2. 学校経営の基本方針と経営重点

○公教育への自覚と責任をもった教育活動の推進
 ○豊かに学び、ふれ合いを大切にした学校づくり
 ○磨き合い、高め合う充実した学校
 ○説明責任と結果責任を明確にする開かれた学校
 ○家庭や地域とともにある学校

3. 本年度の経営の重点

《目指す生徒像》
 ○目標に向かって、学習に取り組む生徒
 ○心のこもった挨拶のできる生徒
 ○新たなことにも積極的に挑戦できる生徒

《目指す教師像》
 ○研修・研鑽に努め、わかる授業を行う教師
 ○生徒理解に努め、温かい対応ができる教師
 ○健康管理に努め、自分を律しつつ挑戦し続ける教師

4. 自己評価結果に対する学校関係者評価(A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」)

| 分野 | 評価項目 | 自己評価 | | | 達成状況 | 改善の方策 | 学校関係者評価 | | |
|-------------------------|---------|---------------------------------------|----|-----|------|-------|--|--------------------|--|
| | | アンケート結果 | | | | | 自己評価・「改善の方策」の適切さ | 学校関係者評価委員による意見 | |
| | | 教師 | 生徒 | 保護者 | | | | | |
| 学校教育目標の具現化と 学校経営に関して | 教師の資質 | 学力の向上に努めている | A | A | A | A | 《教師の資質＝目指す教師像》は、その目標に十分迫ることができた。 ○学習指導に関しては、これまでと同様に達成することができている。次年度も基礎・基本の更なる定着に向けて、「全国学力・学習状況調査」「生徒授業評価アンケート」を効果的に活用し、指導の工夫と改善に役立てる。 ○生徒理解に関しては、日々の生徒観察はもとより、毎日の生活の記録「こころぐ」を活用した生徒と学級担任の交流の取組が効果を挙げているものと考えられる。また、今年度より心の健康観察アプリ「シャボテンログ」の運用が全市で始まったので、効果的に活用していく。 ○今年度より校内いじめ対策会議を定例で行い、いじめに対する組織的対応に努めた。 ○「言葉遣い」「時間厳守」「挨拶」に関しては、生徒に範を示すことができるよう、更なる資質の向上を目指していく。 | 《適切》 不適切 (記述事項) | ・毎年のことですが、教師の資質はアンケート結果ですべて「A」なのは素晴らしいことですが、「シャボテンログ」の運用が始まるのもことですが、学校評議員への説明もしてほしい。 ・今、問題になっている携帯でのギャングや間バイトなどの問題は、生徒たちと話し合いなどされているのでしょうか。 ・地域行事への中学生の参加を通して、地域とのつながりや小学生への手本になるなど、様々な教育効果が得られると考えます。 ・学校内の様子が把握できないので、評価が難しいところではありますが、登下校時等の様子を見てみると、一部の生徒に学校教育目標に準じていない行為が見受けられます。学校・家庭・地域が協力し、子どもたちを見守り指導していくことが大切だと思います。人間形成においては、一番大切な時期ですので、個人の自由ばかりではなく、人間社会の一員として一人一人の心に寄り添った指導をそれぞれの立場で行えばよいのですが。 ・地域の施設や店舗で子どもたちのマナーやモラルに欠ける行為が見られました。子どもたちへの指導はもとより、保護者への啓発をどのように進めていけるかが課題である。 ・デジタル教科書導入について、全てにデジタル化が進む昨今、五感の退化、健康面への被害(視力、思考力など)、教育面への影響(書くことでの対面、人的関係、関心等)に対する配慮がより重要になってくると思われるが、その点への研修等をどう構築するか。 |
| | | 生徒一人一人の理解に努め、一人一人の状況に対応している(いじめ含む) | A | A | A | | | | |
| | | 適切な言葉遣いを心がけている | A | A | A | | | | |
| | | 開始・終了時刻等、時間を守って行動している | A | A | A | | | | |
| | | 誰に対しても、いつでも明るく挨拶している | A | A | A | | | | |
| | | 学校は信頼できる(されている) | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は誰に会っても、いつでも明るく挨拶をしている | B | A | | | | | |
| | 目指す生徒像 | 生徒は正しい服装、正しい言葉遣いをしている | B | A | A | A | 《目指す生徒像》は、概ねその目標に迫ることができた。 ○「誰に会っても、いつでも明るく挨拶ができる」について一折に触れ「挨拶」の大切さについて保護者も含め発信をしていく。また、「挨拶」については、小中一貫した教育の重点の一つにも掲げており、パートナー校との連携した取組を進めていく。 ○学習への取組に関しては、継続課題として捉えなければならない。特に家庭学習習慣については、学年による差異は見られるが、十分な改善が図られていないため、学校と家庭が共有する課題である。→「土日課題」を全学年で実施する。長期休業後コンテスト結果を家庭に通知し、現状の認識と課題の共有化を図りながら、家庭学習習慣の定着と学力の向上に努める。 ○規則正しい生活習慣について→理想的な生活習慣の確立は、家庭との連携は不可欠である。懇談会等での情報の発信を継続して行う。 | 《適切》 不適切 (記述事項) | ・概ね適切と思います。 ・アンケート結果が良いことやホームページから発信される情報から学校行事が制限なく実施され生徒や教職員の活力を感じます。 ・高校出願がweb出願に変わるなど、ICTへの移行による変化に対応している点を評価します。 |
| | | 生徒は自分や病気のしない健康な体づくりをしている | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は時間を守り、規則正しい生活をしている | B | A | B | | | | |
| | | 生徒は自分の役割を果たしている | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は学習道具を忘れず、授業に真面目に取り組んでいる | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は宿題を含め、家庭学習にしっかりと取り組んでいる | B | A | B | | | | |
| | | 生徒は誰に会っても、いつでも明るく挨拶をしている | A | A | A | | | | |
| 校務分掌に関して | 教務・生徒指導 | 生徒と保護者に信頼される評価評定を目指し、明確で正当な評価に取り組んでいる | A | A | A | A | ○評価評定に関しては、次年度も生徒・保護者により確実な理解が得られるよう、取組を強化する。 ○進路指導に関する評価が今年度もAであった。次年度も本人・保護者に寄り添った取組を継続していく。また、今年度より道立高校の出願がweb申請となったが、滞りなく手続きを進めることができた。 ○生徒指導に関しては、十分な取組ができた。今後も生徒一人一人に向き合い、信頼関係の確かな構築に向けて努力を継続する。※(関連項目)教師の資質「生徒理解」 | 《適切》 不適切 (記述事項) | ・性的違和感に悩む生徒の対応について。 ・今年度も生徒が学習でICTを活用している点が素晴らしいです。生徒や教職員がAIで生成された情報に触れる機会や、AIを使用する機会が増え、今後は当たり前の技術となると予想しますので、ICTやAIに依存せず共済活用するきっかけになる教育を今後もお願いいたします。 ・学校設備、施設の劣化への対応を学校現場にだけ任せるとはならず、行政側も大々的に関わる必要を感じる。 ・学校施設の劣化について、できる限りの対応を進めてほしい。 ・トイレ等の経年劣化への対応を今後も期待します。 |
| | | 進路指導に関わる情報を適切に発信し、有効に活用されている(している) | A | A | A | | | | |
| | | 「楽しく」「よくわかる」授業を行うための研修に努めている | A | | | | | | |
| | その他庶務 | 道徳・特活・総合的な学習の時間の指導に計画的に取り組んでいる | A | | | A | ○学校行事や生徒会活動、部活動において、制限のない活動を行うことができ、はつらつと取り組む生徒の姿が見られた。「自治的活動」を意識した取組の手立てとして、生徒会活動の更なる活性化を進める。 ○情報発信に関して、今後も学校からの情報発信ツールとしての学校ホームページの充実にも努めていく。 ○学校の施設・設備について、築年数の経過に伴う劣化が進んでおり、都度修繕等を行っている。 | 《適切》 不適切 (記述事項) | ・性的違和感に悩む生徒の対応について。 ・今年度も生徒が学習でICTを活用している点が素晴らしいです。生徒や教職員がAIで生成された情報に触れる機会や、AIを使用する機会が増え、今後は当たり前の技術となると予想しますので、ICTやAIに依存せず共済活用するきっかけになる教育を今後もお願いいたします。 ・学校設備、施設の劣化への対応を学校現場にだけ任せるとはならず、行政側も大々的に関わる必要を感じる。 ・学校施設の劣化について、できる限りの対応を進めてほしい。 ・トイレ等の経年劣化への対応を今後も期待します。 |
| | | 基本的な生活習慣、社会性を身に付けさせる指導を行っている | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は学校行事や生徒会活動、部活動に全力に取り組んでいる | A | A | A | | | | |
| | | 生徒は「自治活動」を意識した活動を行っている | B | A | | | | | |
| | | 「感動を共有できる合唱」の取組を通して、生徒の成長を目指している | A | A | A | | | | |
| | | 学校の施設は使いやすく、清潔で過ごしやすい環境が整っている | B | B | A | | | | |
| | | 学校からの情報は適切に発信している | A | | A | | | | |

5. 自己評価における特記事項

○教育目標の具現化に向けたアプローチ
 一学校教育目標達成のための経営の重点である、「目指す生徒像」と「目指す教師像」の今年度の達成度は、十分な成果を挙げていると言える。今後はこれを保護者、地域、生徒に広く周知し、開かれた学校として豊かな社会活動につながる形を目指していきたい。
 ○教師力の向上
 一授業評価の取組と校内研修の充実・改善により、個々の教師の研修に対する姿勢は高いと言える。今後も継続した取組により、教師の資質と指導力の向上に努める。また、教師自らが挨拶や時間を守ることなど、生徒に範を示すことができるよう、より自覚を高めていく。
 ○学習習慣の強化
 一家庭学習習慣の定着は依然として大きな課題である。本校の学力育成プログラムに沿って丁寧な指導を続けていく。

○A、B、Cはアンケート結果の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計%から算出しました。A…75%以上、B…50%以上75%未満、C…50%未満

○達成状況は各項目の平均から算出